



桃山学院大学
St. Andrew's University

2022年4月1日

報道関係各社 御中

まちを まるごと “謎解きテーマパーク化”
産学官連携で若者層の防災意識を改善せよ
参加協力機関と大阪府へ最終発表
4月4日(月)13:00 – 16:10

【本件ポイント】

- ◎南海トラフ巨大地震の発生確率(40年以内)が90%程度に引き上げられました(政府の地震調査委員会)。
- ◎桃山学院大学は、産学官が連携した「若年層の防災意識を高める」プロジェクトに参加しています。
- ◎本プロジェクトには、本学のほかに(株)セガ エクスディー、パナソニックコネクト(株)、泉大津市、本学および連携高校(大阪高等学校、大阪夕陽丘学園高等学校)が参加しています。
- ◎本学では、ビジネスデザイン学部の学生が、高校生のフィールド調査などをサポートしています。
- ◎4月4日(月)に、フィールド調査などをもとにした提案を、プロジェクトに参加している各種機関のほか、大阪880万人訓練を実施する大阪府に対して、高校生と学生が発表します。
- ◎本プロジェクトに参加する本学関係者などに個別インタビューが可能です。



フィールドワークの様子



フィールドワークの様子(避難施設設営)



フィールドワークの様子



フィールドワーク後のディスカッションの様子

【詳細】

政府の地震調査委員会（委員長・平田直東京大名誉教授）は、2022年1月13日、南海トラフ巨大地震の40年以内の発生確率を「90%程度」と発表しました。前年に発表された発生確率「80～90%」から引き上げられた形となります。

桃山学院大学（大阪府和泉市、学長：中野瑞彦、2021年5月1日時点：学生数6,493人）では、泉大津市（2013年7月に本学と連携協力に関する包括協定を締結）、(株)セガ エックスディー、パナソニックコネク（株）、連携高校2校（大阪高等学校、大阪夕陽丘学園高等学校）とともに「若年層の防災意識改善」に取り組む産学官連携プロジェクトに参加しています。

本プロジェクトは、若年層に人気のある「街を歩きながらミッションをクリアする体験型ゲーム」を災害避難訓練に用いることで、大規模災害に対する行動変容を促す狙いで実施しています。

3月21日（月・祝）は泉大津市内にて、避難標識や防災倉庫など各スポットでミッションをクリアしながら避難所を目指すゲームを体験し、翌22日（火）には大規模災害時にそれぞれ異なる被害が想定される各高等学校の周辺地域でフィールドワークを実施しました。

その後、フィールドワークでの経験をもとに「各地域の条件をもとに考案した防災ゲームの内容」についてディスカッションを重ねてきました。4月4日（月）13:00より、高校生と学生が本学の大阪市内キャンパスである、あべのBDL（ビジネスデザイン・ラボ）にて協力機関へ最終提案を発表します。

なお、最終報告会には「大阪880万人訓練」を主催する、大阪府（危機管理室）からも担当者が参加する予定です。

【プロジェクトについて】

- ・参加機関：(株)セガ エックスディー、パナソニックコネク（株）、泉大津市、桃山学院大学、大阪高等学校、大阪夕陽丘学園高等学校（順不同）
- ・参加生徒・学生数：約30名
- ・活動日時：
 - ①2022年3月19日（日）（土）14:00-17:10（実施済み）
あべのBDLにて、アイスブレイクやディスカッションなどを実施
 - ②2022年3月21日（月・祝）11:00-16:00（実施済み）
泉大津市にて、大学生と高校生が体験型ゲームを体験。ゲーム終了後参加者による講評
 - ③2022年3月22日（火）10:00-14:30（実施済み）
前日のゲーム体験を経て、各高校周辺地域における状況調査
 - ④2022年3月25日（金）9:30-12:40（実施済み）
フィールド調査の振り返りや、グループワークなどを実施
 - ⑤2022年3月30日（水）9:30-12:40（実施済み）
ゲームのシナリオ提案に向けた、ワークショップ
 - ⑥2022年4月4日（月）13:00-16:10（予定）
高校生と大学生による、参加協力機関および大阪府への提案
※桃山学院大学あべのBDL（大阪市阿倍野区昭和町3-1-57）にて対面実施

以上

【本件に関する問合せ】 〒594-1198 大阪府和泉市まなび野1-1 学校法人桃山学院 経営企画課 広報室
TEL 0725-92-7026 FAX 0725-54-3203 /E-mail koho09@andrew.ac.jp

※本リリースは、学校法人桃山学院経営企画課広報室が作成しています。内容等に関するご意見やご助言等、お待ちしております。